にじのきらめき

いろいろ使えるおいしいおこめ

背景・経緯

地球温暖化の進行により、お米の品質低下が問題になっています。
また、稲作経営の大規模化により、倒伏に強い、多収の品種が求められています。
これらに対応するため、「コシヒカリ」と同じ収穫期で収量性が高く、高温にも強い極良食味品種**「にじのきらめき」**を育成しました。

※高温耐性のある「西南１３６号」（後の「なつほのか」）と食味に優れた「北陸２２３号」を交配して育成した**期待の新品種**です。

「にじのきらめき」

いろいろ使えるおいしいおこめ

「コシヒカリ」と収穫期はほぼ同じですが、短稈で倒伏に強く、**直播栽培**も可能です。栽培は取組やすくて、収量も多く、玄米品質に優れます。
暑さに強く、**縞葉枯病に抵抗性**であり、北陸、西日本までの広い栽培適地をもっています。
玄米は**大粒**で食味も良く、いろいろな用途に使えます。





農研機構
NARO 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

〒305-8666 茨城県つくば市観音台2-1-18
農研機構 中日本農業研究センター

中農研への
お問い合わせは
こちらから



スジヲ



おむすびなろりん

農研機構育成品種
種苗の入手先は
こちらから

暑さに強く多収の極良食味水稲品種

「にじのきらめき」は「コシヒカリ」とほぼ同じ収穫期の中生品種です。

「コシヒカリ」よりも十五％程度多収です。

高温にも強く、玄米の品質に優れます。

食味はなめらかでうま味があり、「コシヒカリ」と同等です。

大粒でいろいろ使える、それが

「にじのきらめき」です。

「にじのきらめき」の籾と玄米



「にじのきらめき」の玄米品質

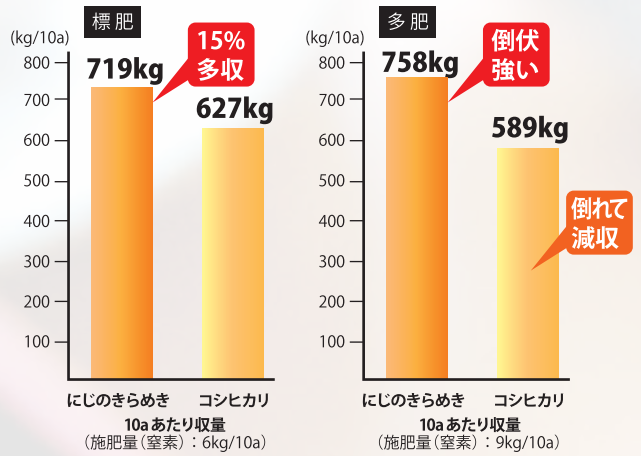
品種名	玄米 千粒重 (g)	玄米 品質 (1-9)	腹白 (0-9)	心白 (0-9)	乳白 (0-9)	背基白 (0-9)
〈標肥栽培〉						
にじのきらめき	24.6	4.0	0.5	1.0	0.6	1.1
コシヒカリ	22.4	5.8	0.8	1.9	1.9	3.2
〈多肥栽培〉						
にじのきらめき	23.9	4.4	1.6	0.8	1.4	0.5
コシヒカリ	21.7	5.9	1.5	2.3	2.0	2.0

玄米品質は1(上上)～9(下下)、腹白、心白、乳白、背基白は0(無)～9(甚)で評価した。

「にじのきらめき」の食味

品種名	総合評価 (-5～+5)	外観 (-5～+5)	香り (-5～+5)	うま味 (-5～+5)	なめらかさ (-5～+5)	粘り (-3～+3)
にじのきらめき	1.12	1.09	0.61	0.95	1.03	1.23
コシヒカリ	0.97	1.02	0.45	0.86	0.82	1.06
(基準) 日本晴	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

「にじのきらめき」の収量性



「にじのきらめき」の特性

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏程度
〈標肥栽培〉						
にじのきらめき	8.05	9.18	71	19.6	416	0.0
コシヒカリ	8.05	9.14	96	19.0	399	4.2
〈多肥栽培〉						
にじのきらめき	8.06	9.19	74	20.4	474	0.0
コシヒカリ	8.04	9.15	101	19.6	449	4.8

注)農研機構中央農研北陸研究拠点(上越市)における成績。
裁植密度：30×18cm。
施 肥 量：6kg/10a(標肥栽培)、9kg/10a(多肥栽培)。
倒伏程度は0(無)～5(完全倒伏)の観察判定

「にじのきらめき」の耐性・耐病性

耐倒伏性	強	葉いもち	中
穂発芽性	難	穂いもち	やや強
高温耐性	やや強	縞葉枯病	抵抗性